

CommandCenter Secure Gateway の概要

CommandCenter Secure Gateway (CC-SG) V1 ユニットをお買い上げいただき、ありがとうございます。CC-SG は、IT デバイスのセキュアなアクセスとコントロールを統合する、Raritan の管理ソフトウェア プラットフォームです。このマニュアルでは、CC-SG を最小限の所要時間で設定し、稼働させるための手順を説明します。CC-SG をインストールする前に、CC-SG を使って管理するデバイスを準備しておく必要があります。手順については、『CommandCenter Secure Gateway セットアップ ガイド』または『Raritan デジタル ソリューション デプロイメント ガイド』を参照してください。

I. CC-SG のパッケージを開く

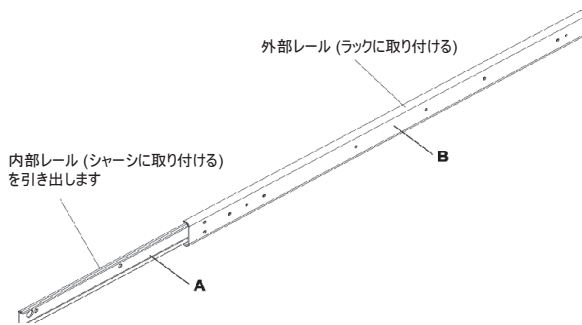
製品パッケージの内容は、次のとおりです。

- (1) CommandCenter Secure Gateway ユニット
- (1) ラック マウント キット
- (2) 電源コード
- (1) CAT 5 ネットワーク ケーブル
- (1) 印刷版『クイック セットアップ ガイド』(本書)
- (1) Raritan ユーザ ドキュメンテーション CD-ROM
- ユーザ登録書と保証書

II. ラック マウント CC-SG

レール セクションの識別

ラック マウント キットには 2 つのラック レール アセンブリが入っています。各アセンブリは、ユニットに取り付ける内部固定シャーシ レール (A) と、レール ブラケットに取り付ける外部固定ラック レール (B) の 2 つのセクションから成ります。2 つのセクションの間に入っているスライディング レール ガイドは、固定ラック レールに付けたままにします。A と B のレールは取り付けの際に外す必要があります。



固定シャーシ レール (A) を外すには、カチッという音がしてレール アセンブリの内側からロック タブが出て、内部レールがロックされるまでレールを外側に引き出します。ロック タブを押し込んで内部レールを完全に外に引き出します。左側と右側のラック レール アセンブリをこの手順で外します。

テクニカル サポート

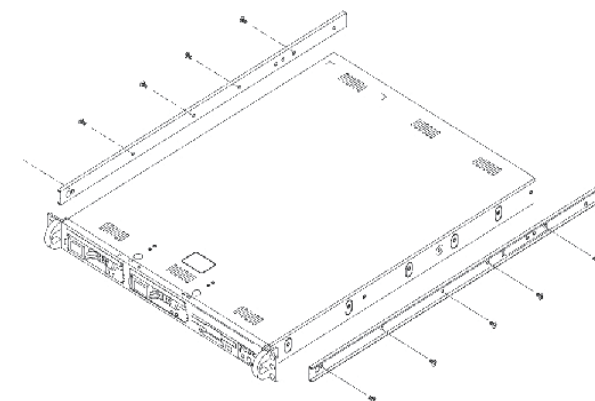
パッケージに上記の項目がすべて入っていない場合は、米国 Raritan 社 (電話 +1-800-724-8090、北米東部時間 8:00 AM ~ 8:00 PM) または現地の Raritan 事業所までご連絡ください。

ラック設置場所の決定

CC-SG ラックの設置には、風通しの良い清潔で埃の少ない場所が適しています。熱、電気的ノイズ、電磁界が発生する場所を避け、アース付きコンセントの近くに設置します。

シャーシ レールの取り付け

1. 先ほど取り外した固定シャーシ レール セクションをシャーシの側面にそって 5 つのネジ穴が揃うように配置します。
注：2 つのレールは左右の区別があります。
2. レールをシャーシの側面にネジで固定します。



3. シャーシの反対側で手順 1 と 2 を繰り返し、もう一方のレールを取り付けます。Telco ラックに取り付ける場合は、レール ブラケットを取り付けます。

ロック タブ

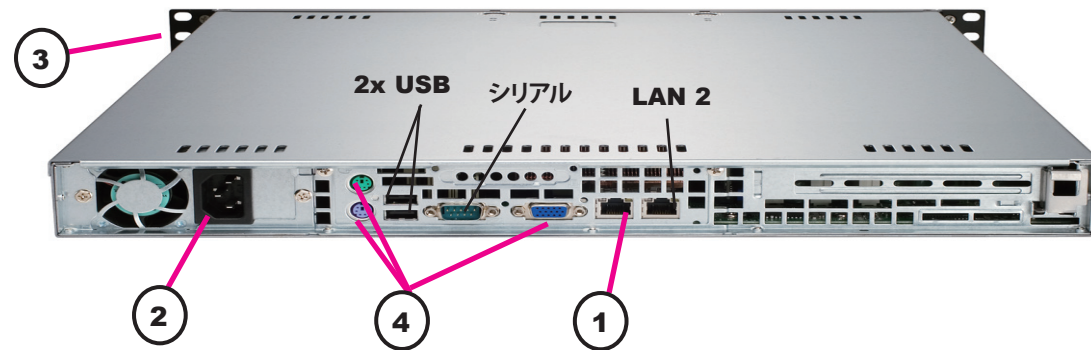
両方のシャーシ レールにあるロック タブは、2 つの機能を果たします。

- CC-SG を取り付けラックの中 (標準稼働時の位置) に押し込むとき、ユニットを所定位置にロックします。
- 修理のため CC-SG をラックから引き出した際に、ユニットがラックから落ちないように固定します。

ラック レールの取り付け

1. CC-SG をラックのどこに配置するかを決めます。
2. 固定ラック レール/スライディング レール ガイド アセンブリをラックの希望の位置に配置し、スライディング レール ガイドはラックの内側に向けます。
3. 付属のブラケットを使ってアセンブリをラックにネジで固定します。

III. ケーブルの接続と CC-SG IP アドレスの設定

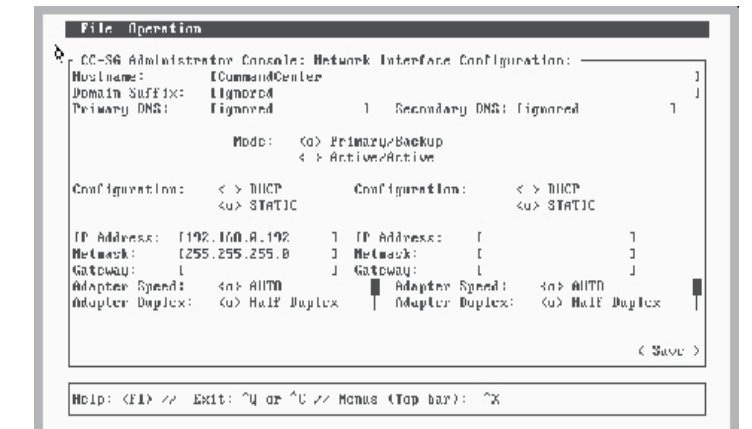


CC-SG のデフォルト設定：
IP アドレス：192.168.0.192
サブネット マスク：255.255.255.0
ユーザ名/パスワード：admin/raritan

1. ネットワーク LAN ケーブルを、CC-SG ユニットの背面パネルにある LAN 1 ポートに接続します。ケーブルのもう一方の端をネットワークに接続します。
2. 付属の AC 電源コードを CC-SG ユニットの背面パネルにあるポートに接続します。コードのもう一方の端を AC 電源コンセントに差し込みます。
3. CC-SG のフロント ベゼルを開けて [POWER] ボタンを押して電源を入れます。
注：CC-SG の電源をオフにするには、[POWER] ボタンを強く押し、CC-SG の電源がオフになるまで約 1 分間待ちます。
4. KVM ケーブルを CC-SG ユニットの背面パネルにある適切なポートに接続します。ビデオ出力にログイン プロンプトが表示されたら、「admin/raritan」としてログインし、CTRL+X を押します。ユーザ名とパスワードは大文字と小文字を区別します。
5. [Operation] メニューから [Network Interfaces]、[Network Interface Config] の順に選択します。



6. [Configuration] フィールドで、[DHCP] または [Static] を選択します。[Static] を選択した場合、静的 IP アドレスを入力します。必要に応じて、DNS サーバ、ネットマスク、ゲートウェイ アドレスを指定します。



7. [Save] を選択します。CC-SG が再起動するまで数分間待ちます。

IV. CC-SG へのログイン

1. CC-SG が起動した後、サポートされているインターネット ブラウザを使って CC-SG の URL、http://<IP アドレス>/admin (たとえば、http://10.10.3.30/admin) を入力します。
2. セキュリティ警告ウィンドウが表示されたら、[はい] をクリックします。
3. マシン上のサポートされていない Java Runtime Environment バージョンを使用すると、警告が表示されます。



4. ログイン ウィンドウが表示されます。デフォルトのログイン名とパスワード (admin/raritan) で CC-SG にログインします。

詳細については、『CommandCenter Secure Gateway 管理者ガイド』を参照してください。